

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動名	第 28 回湘南国際村めぐりの森植樹祭
活動団体名	非営利型一般社団法人 Silva (シルワ)
活動目的	バブル期に開発された水源林であった湘南国際村めぐりの森の植生を復元する為、潜在自然植生種を用いた混植・密植方式による土地本来の森を再生する目的。土地本来の森は、生長の過程で気温を上げる二酸化炭素と太陽エネルギーを吸収し、気温を下げる酸素を供給してくれる為、地球温暖化の直接的な対策となる上に防災林としても機能し、異常気象による地滑り・土砂崩れなどの被害の拡大を減らす。その理由より、SDG s 目標へ貢献することで森里川海プロジェクトへ協働する取り組みを目的とする。
活動内容	2009 年より 17 年間、目的記載の植樹を推進。当日は、前日の雨天後の濃霧が嘘だったかのように気持ちの良い青空となり、会場には 666 名の方がご来場くださり、4,000 本の植樹を無事にご体験いただいた。 開会式の後には、大きく 3 つに分けた各 200 名ずつのグループで交代しながら、『植樹』『植樹サポーター』『森の講座受講』のルーティンを実施した。植樹地自体が傾斜角度 40 度前後の勾配だったため、山道もひとりずつしか通れない細道となり、皆さまには御不便をおかけしたが、結果的には、666 名全員の力を集結し交代しながら、①苗木の水漬け作業、②水漬けした苗木のバケツリレー、③植樹作業、④ワラのバケツリレー、⑤ワラのマルチング作業、⑥木札のメッセージ取り付け、⑦使用後の資材の回収のノルマを、それぞれ 3 グループとグループ毎のリーダー1 名に 18~20 名の 12 パーティに臨機に展開いただき、予定の 4,000 本の植樹を見事に完遂することができた。
活動写真	
写真説	2025 年 5 月 11 日植樹祭 集合写真

明		
活動写真		
写真説明	苗木の水漬け風景	植樹風景
活動効果	<p>皆さまのおかげで緑化累計面積は 2.51 ヘクタール、植樹累計本数は 84,362 本となり、バブル期の開発跡地であった荒廃地が人の手によって、原生林に近い土地本来の森へ誘われる記念日となった。当該の植樹地の土壌は 2018 年に神奈川県 の許可を得て、廃棄予定の『瀬上市民の森』の山砂を当法人にて引取り、足かけ 8 年かけて改善している。</p>	
今後の展望	<p>『湘南国際村めぐりの森』は、国連の世界目標『30by30』より、国の保護地域以外で生物多様性保全に資する地域『OECM』の自然共生サイトの対象地として、昨年 2024 年 10 月 21 日に環境大臣より認定された。これにより、2022 年 12 月にカナダ・モントリオールで開かれた生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）にて採択され、2030 年までの新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」及び、SDG s 目標貢献としても国際的な環境保護エリアとして、世界へ認識されることになった。</p> <p>環境省では、令和 5 年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定しているが、令和 7 年 4 月から自然共生サイトを法制化された新法・地域生物多様性増進法が施行される。そのため、令和 5、6 年度に認定された自然共生サイトも令和 7 年度からは、地域生物多様性増進法に基づき認定された対象地での自然保全・保護の実施計画を伴う事実が必要となる。そうした面でも当該地は、神奈川県のコア事業として、しっかりと植樹事業を継続して推進している。</p>	

活動日 2025 年 5 月 11 日